

1. 質問と回答

質問と回答

Q1

- ・作業環境測定ガイドブックには吸光光度分析法の定量下限値として、吸光度0.03に相当する最終試料液の濃度を定量下限とするとありますが、標準偏差 10σ の定量下限の違いについてご教示ください。

質問と回答

A1

- ・「吸光度0.03に相当する濃度＝定量下限」という考え方は、分光光度計の実務的な検出能力に基づく経験則「このくらいの吸光度ならノイズに埋もれず、安定して読める」という装置依存・経験的な基準です。

一方で「 10σ 」は、ブランクや低濃度試料の測定ばらつき（標準偏差 σ ）を基準に定量下限 $= 10 \times \sigma$ とする統計的定義です。

報告値 → ガイドブック基準

内部精度管理 → 10σ で確認

とするのが、実用上の運用として妥当かと思われます。